

NIKKEI BUSINESS DAILY

Smart Times

査と比べて1分しか増えていない。ちなみに女性は2時間29分である。東京都生活文化局が発表した「令和3年度男性の家事・育児参画状況実態調査」によると夫のテレワークがかえって妻の家事労働を増やしてい

テレワークになっても男性の家事分担は進んでいない。昨年発表された男女共同参画白書によると、夫婦と子供からなる世帯で男性による家事時間は1日50分とある。しかも1年前の調

インディゴブルー会長

柴田 励司



1985年上智大文学。マザーシャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者(COO)などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

るのが実態だ。

会社の仕事と異なり、家 配されている。私自身、長らくその潜在事には休日がない。人が生 意識にやられ「家事を手伝活する限り、食事、洗濯、 っている」という意識だっ片付けが発生する。ワーク た。仕事のアレクシチャーをライフバランスを「仕事と 感じながら、不満たらたら

夫の家事、成功の秘訣

家庭のバランス」と誤す人 家事をしていた。とあるき があるが、専業主婦のこと っかけにより、いくつかの を考えていない。私は「仕 家事を自分の仕事であると 事と私生活」と誤すべきだ 認識するようになってから と思っっている。

家事を手伝うのは当然。 変わった。 自分スケジュールの中 夫に「手伝う」という意識 に仕事だけでなく家事の予 がある限り、この問題は解 定も入れた。すると自分が 決しない。家事は女性がや 主担当の家事をこなすため るものという潜在意識に支 到自己的時間をコントロー

ルするようになった。 特別な事情がない中で、 どうやって男性や子供の意 識を変ええるか、妙案がある。 ジョブディスクリプション ようにする。仕事でもそ

を発行するのだ。家事をア だが周りからあれこれ言わ れると、言われないように 雷クタウンして、それぞれ やることが主眼となって本 来の目的を見失う。当然な がら、担当者の当事者意識 も減退する。

ただし主担 当の家事がう まくできない ときには、そ

れなりの努力をしてもらう 必要がある。これも仕事と 同じだ。妻が経験者として 指導することはあるだろ う。ただし、昭和の上司み たいに細かくチェックしよ うとしてはいけない。 仕事人の夫の家事分担を 増やすには仕事の環境を応 用するのが一番だ。ぜひ試 してみていただきたい。